

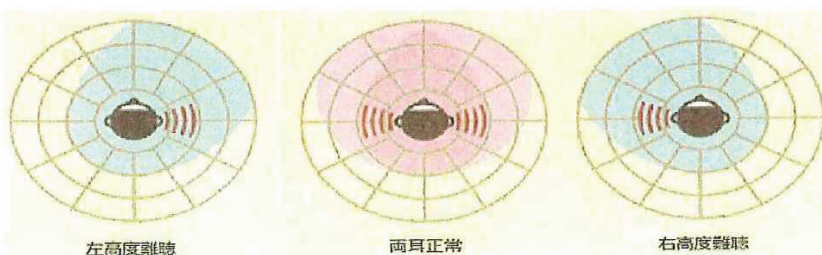
# 片耳難聴(一側性難聴)について

## ～聞こえの特徴～

### 1 音の「方向」や「距離感」が分かりにくい

授業中、誰が発言しているのかわからないことがあります。聞こえる側の耳から話しかけてもらったり、学校では聞こえる側の耳が先生の方を向くよう席の配置をお願いしてください。同時に他の子の様子が見渡せるようにも心掛けてください。

遠くから話された場合は、顔が見える場所まで近づいてください。



### 2 騒がしい場所や体育館(音が反響するところ)では聞き取りにくい

静かな場所で話したり、近づいて話してください。話をするときはなるべく音(テレビ、音楽など)を止めてください。

## ～生活の配慮～

### 1 耳の健康管理に心掛けましょう

普段からかかりつけの耳鼻科を決めておき、できれば定期的に受診し耳の健康管理、聴力管理に気をつけましょう。CTなど精密検査を行うこともあります。

### 2 安全への配慮に心掛けましょう

見えない場所や背後から近づく自転車などに気づかないことがあります。登下校のときなど周りの人にあらかじめ伝えておきましょう。

### 3 普段から「きこえ」について話せる雰囲気を中心掛けましょう

本人は聞こえにくさに気づかなかつたり、気づきにくいことがあります。日ごろから親子で「きこえ」について気軽に話せることは大切です。生活の中でお困りのことやお相談がありましたら、岐阜県難聴児支援センターまでご連絡ください。

